

2025年度

# 事業報告書

自：2025年4月 1日

至：2026年3月31日

東京都港区芝公園4丁目7番4号  
公益財団法人 三康文化研究所

# 目 次

I. 基本方針	2
II. 法人の状況に関する重要な事項	2
1. 役員等に関する事項	2
2. 会議に関する事項	3
III. 公益目的事業の実施状況	5
1. 公開講座	5
2. 研究座談会	5
3. 研究会	5
4. 研究冊子の刊行	6
5. 学会参加	6
6. 附属図書館(三康図書館)	8
IV. 収益事業(建物賃貸業)の実施状況	18
V. 運営体制の充実をはかるための取組	18

## I. 基本方針

当法人の事業は、定款第3条(目的)、第4条(事業)に基づき実施している。

また、附属三康図書館においては、「理念」および理念に基づく「目標」を以下の通り定め、これを実施している。

「三康図書館の理念」

あらゆる属性(国籍、所属、性別)を問わず、すべての人に対して知る自由を保障する図書館として自主的な学習、研究を支援し個人および社会的な「知の構築」に貢献する

「目標」

- 「知の蓄積」である蔵書の公開・周知・利用提供を進め、すべての人の調査、研究、学びを支援し、社会貢献に寄与する
- 旧大橋図書館から引き継がれた蔵書および三康図書館が収集する蔵書が将来にわたって利用できるよう保存管理体制を構築する
- 研究所附属図書館として、学術文化の発展に寄与し、資料提供、展示、講演会、情報発信等の取り組みを通して、学びの機会を提供する
- 図書館員の専門的知識の向上に努め、利用者および三康文化研究所研究員と信頼関係を築きニーズを把握し、他機関と連携しながら期待を上回るサービス提供に努める

## II. 法人の状況に関する重要な事項

### 1. 役員等に関する事項

2026年3月31日	現在
理事	6名
監事	2名
評議員	10名

#### (1) 理事

理事長	小澤 憲 珠(大本山増上寺 法主)
常務理事	中 村 仁(元株式会社西武ホールディングス 監査役)
理 事	袖 山 榮 輝(大本山増上寺 執事 教務部長)
	巖 谷 勝 正(祐天寺住職)
	稲 垣 健 太(株式会社西武不動産 執行役員 管理部担当)
	佐 瀬 満 雄(元株式会社西武ホールディングス 監査役室長)

#### (2) 監事

	西 村 実 則(大正大学名誉教授)
	久 能 央 之(株式会社西武不動産 執行役員 経理部長)

#### (3) 評議員

	小 林 正 道(大本山増上寺 執事長)
	伊 藤 広 喜(大本山増上寺 執事 施設部長)
	赤 羽 海 衆(大本山増上寺 執事 総務部長)
	友 田 達 祐(法伝寺住職)
	宮 坂 直 樹(龍原寺住職)
	寶 迫 直 樹(株式会社西武不動産 管理部長)
	牧 野 宏 行(株式会社西武不動産 管理部次長)
	山 本 徳 之(西武鉄道株式会社 管理部課長)
	蜂 木 清 文(元西武鉄道株式会社 人事部課長)
	平 田 伸 一(元西武造園株式会社 常務取締役)

## 2. 会議に関する事項

開催年月日	会議名	報告事項・決議事項	会議の結果
2025年5月13日	理事会	報告事項 職務執行状況について 決議事項 第1号議案 2024年度 事業報告書(案)について 第2号議案 2024年度 決算報告書(案)について 第3号議案 理事・監事推薦について 第4号議案 定時評議員会招集及び提出議案について その他	原案通り承認可決した 〃 〃 〃
2025年6月25日	評議員会	報告事項 2024年度 事業報告書について 決議事項 第1号議案 2024年度 決算報告書(案)について 第2号議案 評議員10名の選任について 第3号議案 理事6名の選任について 第4号議案 監事2名の選任について 第5号議案 退任常勤理事に対し退職慰労金贈呈の件	原案通り承認可決した 〃 〃 〃 〃
2025年6月25日	理事会	決議事項 第1号議案 代表理事及び理事長選定について 第2号議案 常務理事選定および報酬について	原案通り承認可決した 〃
2025年7月25日	理事会	報告事項 当法人の今後の方向性について	

2025年7月25日	評議員会	報告事項 当法人の今後の方向性について	
2025年10月17日	理事会	報告事項 職務執行状況について 決議事項 第1号議案 減価償却引当資産取扱規程の一部改訂について 第2号議案 公1事業(仏教文化研究、研究者の育成、研究成果の刊行等を行い、学術文化の発展に寄与する事業)の廃止とその時期について その他	原案通り承認可決した 〃
2026年2月26日	理事会	報告事項 職務執行状況について 決議事項 第1号議案 2026年度 事業計画について 第2号議案 2026年度 事業収支予算について 第3号議案 2026年度 資金調達及び設備投資計画について 第4号議案 公益目的事業の種類及び内容、収益事業等の内容について 第5号議案 公益充実資金取扱規程制定について 第6号議案 公益充実資金及び減価償却引当資産の全額取り崩しについて その他	原案通り承認可決した 〃 〃 〃 〃 〃

### Ⅲ. 公益目的事業の実施状況

#### 1. 公開講座

2025年度はハイブリッド形式(会場参加、Zoomミーティング)で開催した。ホームページ、Facebook、Xで案内し、大学、研究機関、新聞社等へ開催案内を事前に送付した。新聞記事については、宗教専門紙である「中外日報」(株式会社中外日報社発行)と「仏教タイムス」(仏教タイムス社発行)に公開講座の開催案内と発表内容について掲載された。

開催年月日	題 目	講師	聴講申込者数
2025年5月12日 (閲覧室とZoom ミーティングで 開催)	①「増上寺四六世 妙誉定月上人について」 ②「浄土宗名越派の教学研究序説」	石川琢道研究員 柴田泰山研究員	59名(内、会場参加は8名) アーカイブ視聴回数:78回
2025年10月6日 (閲覧室とZoom ミーティングで 開催)	①「法然上人における平和思想 —ご生涯とご法語に学ぶ—」 ②「南光坊天海の自筆書状について」	林田康順研究員 宇高良哲 研究指 導員	31名(内、会場参加は5名) アーカイブ視聴回数:51回

※2025年度は「事業計画書」通り計2回実施した。

#### 2. 研究座談会

当法人の研究員が、インド学、仏教学、及び仏教文化に関する研究について、闊達な意見を交わす会。

開催年月日	研究内容
2025年5月12日 (閲覧室で開催)	各研究員より現在の研究テーマの報告があった。
2025年10月6日 (閲覧室で開催)	宇高研究指導員より法然作一枚起請文について「一枚起請文一覧表」を中心に解説があった。

※2025年度は「事業計画書」通り計2回実施した。

#### 3. 研究会

当法人の研究員と外部機関に所属する研究者による、インド学、仏教学、及び仏教文化に関する研究会。

種 目	開催年月日	研 究 内 容	研究会メンバー
原典研究会 担当者 西村実則研究員 古宇田亮修研究員	自2025年5月23日 至2026年2月5日 (研究室で開催) 計3回	梵本の輪読と校合	大南龍昇(元大正大学) 佐藤堅正(大正大学) 石田一裕(〃) 西村実則(研究員) 古宇田亮修(研究員)

			以上5名
日本仏教史研究会 担当者 宇高良哲研究指導員	自2025年5月9日 至2025年10月17日 (研究室で開催) 計10回	①川越蓮馨寺日鑑の原稿作成(本年度原稿作成完了) ②「知恩院宮尊超法親王江戸御参向記」原稿作成(『年報』第57号に「地」の部入稿済)	②のメンバー 西城宗隆(増上寺) 中野真理子(元増上寺) 中川仁喜(大正大学) 宇高良哲(研究指導員) 以上4名
浄土教典籍研究会 担当者 林田康順研究員 柴田泰山研究員 石川琢道研究員	自2025年5月8日 至2026年1月14日 (Zoomで開催) 計6回	了誉聖問 『顕浄土伝戒論』 の研究・輪読	林田康順(研究員) 柴田泰山(〃) 石川琢道(〃) 以上3名

※2025年度は「事業計画書」通り原典研究会は計3回、日本仏教史研究会は計10回、浄土教典籍研究会は計6回実施した。

#### 4. 研究冊子の刊行

- ① 所報第六十号 (A5判・31頁・200部) 2025年7月14日発行  
 ② 年報第五十六号 (A5判・207,65頁・300部) 2025年5月23日発行  
 ※2025年度は「事業計画書」通り実施した。

#### 5. 学会参加

- 宇高良哲 大正大学史学会、浄土宗総合学術大会  
 西村実則 日本印度学仏教学会(オンライン参加)、浄土宗総合学術大会  
 林田康順 浄土学研究会学術大会、日本印度学仏教学会学術大会、浄土宗総合学術大会、仏教文化学会学術大会  
 柴田泰山 浄土学研究会学術大会、浄土宗総合学術大会、浄土学研究会公開講座  
 石川琢道 浄土学研究会、浄土宗総合学術大会、日本印度学仏教学会、日本佛教学会、東アジア仏教研究会  
 古宇田亮修 日本印度学仏教学会、千葉・関東地域社会福祉史研究会

※2025年度は「事業計画書」通り、研究員は関係大学・団体の主催する学会に参加した。

チェックポイント対照表

公益認定申請書	事業報告書	チェックポイントと回答	
公1 (2) I. 公開集会	III 1. 公開講座	(6) 調査、資料収集-1  当該調査、資料収集が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。	<b>【回答】</b> 定款第4条(1)に規定した事業「インド学及び仏教学に関する研究調査」の成果を誰でも参加可能な公開講座で広く公開している。
2. 研究会	2. 研究座談会 3. 研究会	(6) 調査、資料収集-3  当該調査、資料収集に専門家が適切に関与しているか。	<b>【回答】</b> 定款第4条(1)に規定した事業「インド学及び仏教学に関する研究調査」を、研究員は各専門分野の研究会に所属し研究している。また、各自の研究内容を研究座談会で議論しさらに研究を充実させている。
3. 研究冊子の発行	4. 研究冊子の発行	(6) 調査、資料収集-2  当該調査、資料収集の名称や結果を公表していなかったり、内容についての外部からの問い合わせに答えないということはないか。	<b>【回答】</b> 研究調査の成果物は、「年報」・「所報」として作成している。「年報」は国立国会図書館、仏教を中心とする研究機関等に寄贈、「所報」仏教関係の研究者、仏教を中心とする研究機関等に寄贈し広く一般に公開している。また、新たに寄贈の依頼があった場合にも対応している。「年報」はホームページで目次情報も公開している。
4. 学会参加	5. 学会参加	(6) 調査、資料収集-3  当該調査、資料収集に専門家が適切に関与しているか。	<b>【回答】</b> 大正大学の名誉教授、副学長、教授、浄土宗総合研究所の研究員、これに準ずる有識者が構

		成された研究員が、専門の学会に参加し、発表者の研究成果を調査に活かしている。
	(6) 調査、資料収集-4 当該法人が外部に委託する場合、そのすべてを他者に行わせること（いわゆる丸投げ）はないか。	該当しない。委託契約書を締結し、契約書に基づく仕様書に従って委託者と契約者がそれぞれ作業分担している。

## 6. 附属図書館(三康図書館)

1966年に開館して以来59年を経過した。利用者の需要を分析し、その結果を踏まえ、利用者の期待を上回る「蔵書の整備」、「学習、調査、研究などに関する質問への回答」や「情報の提供」などにより一層のサービス向上を図り、充実した図書館運営を目指している。

2025年度は、利用者からの要望に応えるため、2025年4月～6月までは毎週金曜日の夜間開館と第3日曜日の開館を試験的に実施し、10月以降は正式に開館日の変更を行い第3日曜日の開館（第3日曜日の前の金曜日は休館）を実施している。

※第3日曜日の開館については「事業計画書」通り実施した。

### (1) 開館時間

通常：9:30～17:00

### (2) 閲覧席数

通常：定員36名

### (3) 管理・人事

#### 書庫・資料管理

○書庫環境管理 各書庫の定点温湿度測定と、定期的な清掃を1回実施した。

※定点温湿度測定については、2025年度「事業計画書」通り実施した。定期的な清掃については、2025年度「事業計画書」では年2回、(8月(害虫書庫消毒対策後)と12月)に実施する予定であった。2025年8月の時点で退職者が1名、休職者が1名となり、また、各職員が夏期休暇を取得する時期と重なっていたので8月の清掃を実施できなかった。

○カビ・虫害対策として、専門業者による書庫の消毒、及び点検を実施した。

資料のデータ入力時における資料清掃も実施した。

※2025年度は「事業計画書」通り実施した。

○劣化資料保存対策 専門業者による酸性化した図書19冊、雑誌202冊、新聞29冊、合計250冊分の脱酸処理と破損部補修、虫損の写本5冊の修理、破損図書30冊分の製本修理を実施した。

※2025年度は「事業計画書」通り実施した。

#### (4) 蔵書に必要な資料の受入

2025年度受入分は次の通りである。

##### ①図書

1. 購入 7冊
2. 寄贈 68冊
1. 及び2. の合計 75冊
3. 除籍 1冊(2019年度除籍分報告漏れ)

##### ②雑誌

1. 新規継続購入 0タイトル
2. 新規継続寄贈 1タイトル
1. 及び2. の合計 1タイトル
3. 追加入力雑誌 0タイトル
4. 欠号分等補充購入 12タイトル(80冊)  
所蔵雑誌の欠号補充9タイトル(59冊)と未所蔵雑誌の補充3タイトル(21冊)
5. 欠号分等補充寄贈 0タイトル(0冊)
6. 除籍 0タイトル

2025年度の受入により当館所蔵の図書、及び雑誌の総数は次の通りとなった。

図書総数261, 240冊

雑誌総数7, 143タイトル

※雑誌総数には、今まで図書扱いであった資料が、雑誌扱いに変更された際のタイトル数も含まれる

※2025年度は「事業計画書」通り蔵書に必要な資料を選書し購入した。

#### (5) 蔵書資料のデータベース作成と公開

2026年3月31日現在までの状況は次の通りである。

##### ①椎尾家旧蔵資料

資料件数 段ボール18箱分

2021年11月1日寄贈された椎尾弁匡旧蔵資料の基礎調書作成を実施している。なお、これらの資料には、弁匡氏の息子である弁章氏に関連する資料も含まれていたため「椎尾家旧蔵資料(仮称)」とした。

基礎調書作成終了後にデータ入力し、ホームページ公開及び資料リストを作成する。

※2025年度は「事業計画書」通り段ボール4箱分の基礎調書作成をした。(基礎調書作成は全部で10箱分終了)

##### ②データベース作成中の分野

○旧大橋図書館の蔵書

自然科学

※2025年度は「事業計画書」通り「データ作成作業計画」にあった「地理地誌」データ入力を終了した。また2024年度「データ作成作業計画」にあった「国書」データ入力も終了した。「自然科学」についてはデータ入力中である。

○三康図書館設立以降に受け入れた蔵書

新規受入図書・雑誌、湯山文庫(外国語図書)

※2025年度は「事業計画書」通り「新規受入図書・雑誌」についてはデータ入力を終了しインターネットで検索できるよう公開した。なお、湯山文庫外国語資料のデータ入力については、旧大橋図書館資料のデータ入力終了後に再開する予定であるので、入力が行っていない。

### ③インターネット公開

○蔵書検索で検索可能な分野

- ・旧大橋図書館の蔵書(但し分野によっては、資料の頁、大きさ、内容細目、分類、件名等が未入力のデータがある)

総記、宗教・哲学、政治、法律、経済、財政、統計、社会学、風俗習慣・民俗学、

国防・軍事、産業、芸術、児童書、閲覧禁止本(憲秩素本)、自然科学の一部、工学の一部、文学、雑誌、国書

- ・三康図書館設立以降の蔵書

新刊受入図書(2001年度以降受入分)、雑誌、同人誌、椎尾文庫、湯山文庫

(日本語図書・外国語図書の一部・雑誌)

○書名50音リストで検索可能な分野

歴史、伝記、教育、語学

※なお、2025年度は「事業計画書」の「データ作成作業計画」にはないが、伝記については、データ入力を進めている。

### ④既刊蔵書目録(冊子体目録)

哲学・宗教編、地理・地誌編、文学編、欧文書編、漢籍編、国書編、児童書編、雑誌、

内田文庫、椎尾文庫、増谷文庫

### ⑤雑誌目次情報の提供及び公開

皓星社へ所蔵雑誌目次情報を提供し、この情報をもとに皓星社が雑誌目次データを作成し、2024年12月から「ざっさくプラス雑誌記事索引データベース」で公開し、また当館ホームページでも公開した。

※2025年度は「事業計画書」通り実施した。

## (6)利用者へのサービス

### ①図書館利用状況

○図書館開館日数 245日 (前年 251日)

○図書館利用者数 2,360名 (前年2,234名)

目標数:2,500名 未達成

※目標数に対し、達成率は94%となった。

作業利用者のリピーターが減り、非来館利用者が増えた。事前予約不要の書庫見学を随時開催し、新聞・ネットニュース・テレビで紹介されることにより前年より

126名増えた。

【内訳(重複あり)】

- ・閲覧室利用者数 900名 (前年 849名)

目標数:閲覧室利用者数 600名 達成

閲覧室利用者数(書庫内保管図書・雑誌利用者 352名)(前年 322名)

目標数:書庫内保管図書・雑誌利用者 400名 未達成

※目標数に対し、達成率は87.8%となった。

当法人が依頼する所蔵資料の学術的価値の調査依頼をする人数が減ったが、新聞・ネットニュース・テレビで紹介された所蔵資料を閲覧することにより前年より78名増えた。

- ・書庫見学者数 208名

目標数:200名 達成 (前年 160名)

2025年度から座席利用者で書庫見学をした方の数も含めて、目標数を設定している。

※2025年度は「事業計画書」通り利用者への書庫案内を実施した。

- ・展示見学者数1,260名 (前年 1,199名)

目標数:1,300名 未達成

※目標数に対し、達成率は97%となった。

1ヶ月ごとに展示替えをしていたので、展示見学の機会を逃したという事例もあったが、前年より61名増えた。2026年度は2ヶ月ごとに展示替えをする。

【展示見学者数の内訳(重複あり)】

- ・ミニ展示見学者数1,257名
- ・蔵書紹介(ディスプレイラック)見学者数 580名
- ・特集展示コーナー見学者数 231名
- ・研究員による所蔵資料の紹介コーナー見学者数 100名

○書庫内保管図書・雑誌の利用総冊数6,921冊 (前年 9,454冊)

(図書1,846冊、雑誌5,075冊(196タイトル))

目標数:12,000冊 未達成

※目標数に対し達成率は58%となった。

当法人から依頼する所蔵資料の学術的価値の調査依頼をする人数が減ったことに加え、2024年度は三康図書館の漢籍資料全体について調査をしている研究者が何度も来館して資料調査をしていた。今年はそのような利用が無かったので前年度よりも2,533冊減った。

○文書等による資料の調査(レファレンス)件数 73件 (前年 84件)

目標数:170件 未達成

※目標数に対し達成率は42.9%となった。

※2024年度から文献複写件数を含めないようになったので、調査件数が大幅に減った。

インターネットで調査が可能になったことも一因となった。

○文献複写(電子式)申込件数 203件(10,611枚) (前年 184件(7,147枚))

目標数:210件 未達成

※目標数に対し、達成率は96%となった。

前年より19名増えたが、他機関でデジタル公開している資料が増えたことで、資料の実物を確認するだけで複写の申込をされないことがあった。

○文献複写(写真撮影)申込件数 29件(543コマ) 前年 41件(425コマ)

目標数:30件 未達成

※目標数に対し、達成率は96.6%となった。

※国文学研究資料館の国書データベースや国会図書館のデジタルコレクションを利用する人が増えた。

○複製物掲載申込件数 18件(178点)

目標数:10件 達成

○翻刻申込件数 0件(0頁)

翻刻利用はほとんどないので目標数の設定をしていない。

(記録が残っている1988年度から2025年度までの37年間で47件)

○覆刻申込件数 0件

覆刻利用はほとんどないので目標数の設定をしていない。

(記録が残っている1988年度から2025年度までの37年間で141件)

## ②資料の展示

下記の展示を実施した。

○ミニ展示(展示ケースを使用しロビーで実施)

展示名	資料種類・冊数	開催時期
What's "美人"? ー浮世絵にみる化粧文化ー	図書1冊・一枚物8点	2025年4月7日～5月2日
絶景スポット 富獄三十六景	一枚物18点	2025年5月7日～6月6日
雛形デザイン帖 着物・髪型・和菓子・模型	図書10冊・一枚物8点	2025年6月9日～7月4日
覗いてみよう吉原	図書12冊・一枚物3点	2025年7月7日～8月1日
図書館で夕涼み	一枚物7点	2025年8月4日～9月5日
ひらいて楽しい植物図譜	図書15冊	2025年9月8日～10月3日
えであそぼ!おもちゃ絵の世界	図書8冊・一枚物6点	2025年10月6日～11月7日
江戸っ子のまなびば 寺子屋からひろがる知の世界	図書18冊	2025年11月10日～12月26日
江戸時代のティータイム ーお菓子とお茶でほっとひと息ー	図書15冊・一枚物1点	2026年1月5日～3月6日
門出	図書14冊・一枚物1点	2026年3月9日～5月8日(予定)

○蔵書紹介(ディスプレイラックを使用し閲覧室で実施)

展示名	資料種類・冊数	開催時期
新橋演舞場創設百年	図書14冊	2025年4月7日～5月2日
科学の進化	図書20冊	2025年5月7日～6月6日
明治・大正・昭和の空模様	図書11冊・一枚物1点	2025年6月9日～7月4日
本が伝えるラヂオ前夜	図書35冊	2025年7月7日～8月1日
戦後80年GHQ没収指定図書と戦争の記録	図書30冊	2025年8月4日～9月5日
小泉八雲と日本	図書17冊	2025年9月8日～10月3日
愛媛の歴史をひもとく	図書20冊	2025年10月6日～11月7日
魚の世界へようこそ	図書10冊・一枚物1点	2025年11月7日～12月26日
着物を愛でる2ヶ月間 ～和裁と読書のススメ～	図書10冊・雑誌3冊	2026年1月5日～3月6日
没年140年 石川啄木を知る	図書41冊	2026年3月9日～5月8日 (予定)

○特集展示コーナー(書架を使用し閲覧室で実施)

展示名	資料種類・冊数	開催時期
同人誌 蜂	雑誌30冊	2025年4月7日～7月4日
雑誌で読む銀座文化	図書2冊・雑誌40冊	2025年7月7日～10月3日
雑誌「くうりえ」で感じる四季	雑誌24冊	2025年10月6日～12月26日
人物研究雑誌	雑誌28冊	2026年1月5日～4月4日(予定)

○研究員による所蔵資料の紹介コーナー(書架を使用し閲覧室にて実施)

テーマ	冊数	企画研究員	開催時期
「増上寺三大蔵のユネスコ「世界の記憶」国際登録」	4冊	柴田泰山	2025年5月12日～9月30日
「南光坊天海の自筆書状について」	3冊	宇高良哲	2025年10月1日～2026年4月30日 (予定)

※2025年度は「事業計画書」通り「ミニ展示」、「蔵書紹介」、「特集展示」、「研究員による所蔵資料の紹介」を実施した。

③三康図書館ホームページ

2000年7月に開設したホームページを、2019年10月25日にリニューアルし、当館の紹介や蔵書検索の充実に努めている。

○アクセス数

2026年3月31日までの累計アクセス数455,606件

2025年度1年間のアクセス数83,029件（対前年度比31,738件増）

○蔵書検索

現在ホームページからの蔵書検索は、書名、著者名等を入力して検索する「ライブファインダー・ウェブ」(2009年4月23日使用開始)による方法と、書名50音順のリストから検索する二つの方法がある。

※2025年度は「事業計画書」通り「インターネットにおける情報発信」の充実を図った。

④Facebook

2018年6月15日に運用を開始し図書館の情報発信をしている。

2026年3月31日までの累計閲覧回数 60,574件

2025年度1年間の閲覧回数 7,941件（対前年度比 49件増）

※2025年度は「事業計画書」通り「インターネットにおける情報発信」の充実を図った。

⑤X(旧:ツイッター)

2019年6月24日に運用を開始し図書館の情報発信をしている。

※2025年度は「事業計画書」通り「インターネットにおける情報発信」の充実を図った。

⑥書庫VR(ヴァーチャルリアリティ)動画

当館には第1書庫から第5書庫まで5つの書庫がある。これらの書庫に保管されている資料を利用者に紹介し、利活用につなげるために2021年7月公開したVR動画に、2022年移動できる場所を30箇所増加、ホームページ内の資料紹介ページへのリンクボタンを30箇所加えるリニューアルを行った。2024年度はこの資料紹介ページを作成し公開した。

2026年3月31日までの累計アクセス数7,996件

2025年度1年間のアクセス数1,198件（対前年度比 171件増）

※アクセス数はホームページ「蔵書紹介」へのアクセス数

※2025年度は「事業計画書」通り「インターネットにおける情報発信」の充実を図った。

⑦講演会

2025年度も当館が蔵書を継承している旧大橋図書館の歴史や功績、所蔵資料の魅力を伝え、利用につなげるために講演会を会場とオンライン(Zoomミーティング、YouTube)を併用したハイブリッド形式にて開催した。

開催についてはホームページ、Facebook、及びXでご案内、さらに大学、研究機関、及び報道機関(都庁記者クラブに所属する新聞各社等)へ事前に案内を送付し、その結果、開催案内と発表内容についての記事が掲載された。

第1回目は区内の公共図書館との連携を図るために、麻布図書館で実施した。

第2回目は三康図書館で実施した。

開催年月日	題 目	講師	聴講申込者数
-------	-----	----	--------

2025年7月13日	「ラヂオ“まで”の100年」	川崎隆章氏 放送史研究家	85名(内、会場参加は23名) アーカイブ視聴回数:86回
2025年11月16日	「くずし字にふれてみよう 図書館の資料で学ぼう」	橘倫子氏 (神戸松蔭大学文学部教授・茶道資料館特任学芸員)	139名(内、会場参加は20名) アーカイブ視聴回数:167回

これまで開催した講演会について、講師の許諾を得られたものにより順次公開する。

※2025年度は「事業計画書」通り蔵書周知につながる講演会を2回開催した。

#### ⑧「レファレンス協同データベース事業」への参加

当法人では国立国会図書館と「レファレンス協同データベース事業」への参加(申請書)を2019年4月4日に取交し、紙媒体に記載したレファレンス事例、及び資料の調べ方マニュアルのデータ入力と公開を進めてきた。2024年度にレファレンス事例をデータベースに直接入力するためのマニュアルを作成し、レファレンスや資料の調べ方マニュアルのデータ入力を実施した。2026年2月17日から事例の一部の一般公開を開始している。2026年3月4日に令和7年度の「企画協力員賞」を受賞した。(2026年3月31日現在、レファレンス事例86件、調べ方マニュアル6件入力済)

※2025年度は「事業計画書」通り「レファレンス協同データベース」において、「レファレンス事例」と「資料の調べ方マニュアル」を公開した。

#### ⑨広報活動

多くの方に三康図書館の諸活動や取り組みを紹介するために見学会やメディアへの取材協力、職員が外部講演講師を務めるなど様々な情報発信を行っている。

##### ○見学会

図書館関係者(7回 計60名参加)

※2025年度は「事業計画書」通り他機関職員等の団体に向けて書庫見学会を実施した。

##### ○メディア取材・紹介

新聞・テレビ・ラジオ・インターネット等(9回)

##### ○職員外部講演講師・パネラー

大学・図書館・図書館関連セミナー等(3回)

※2025年度は「事業計画書」通り「マスコミ等を利用した」情報発信を行った。

#### ⑩第27回図書館総合展に参加

会場開催：2025年10月22日～10月24日(パシフィコ横浜)

オンライン開催：2025年6月21日～7月4日、11月10日～11月23日

##### ○「ポスターセッション」への参加

「三康図書館 昔も今も、資料をまもる！」と題した手書きのポスターを作成し、会場及び図書館総合展特設ページ、図書館総合展終了後は館内にて掲示を行った。

##### ○「あなたも使える専門図書館」(パネル展示・オンライン展示)への参加

全国の公開専門図書館120館余りの紹介企画に参加し、会場及び図書館総合展特設ページで展示を行った。

※2025年度は「事業計画書」通り外部イベントに参加し広報活動を行った。

#### ⑪三康図書館写本資料デジタルデータ作成の実施

当法人所蔵資料の写本(手書きの資料)が約200点ある。順次デジタルデータを作成し保存するとともにホームページで公開していく。

2025年度は『黒井海軍書簡集』『博文館五十年史』等、計8点(冊子本6冊、卷子本2巻)のデジタルデータを作成した。

※2025年度は「事業計画書」通り蔵書資料のデジタル画像データ作成を実施した。

なお、公開については2026年度実施予定。

#### ⑫「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画におけるデータベース構築に関する覚書」に基づく貴重資料のデジタル撮影の実施

当法人は、2021年1月20日に大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館(以下、国文学研究資料館と記す)と当該覚書を締結した。当館が所蔵する貴重資料のデジタル化を進め、国文学研究資料館ホームページ「国書データベース」でデジタルデータを公開する。⑪で2023年と2024年に撮影した「大橋図書館・博文館資料」等、計38点(冊子本18冊、卷子本4巻、絵図2舗、折本7帖、原稿2点、用箋2点、稿本2点、書簡1点)を国文学研究資料館において2026年3月31日に公開した。

※2025年度は「事業計画書」通り「他機関との連携」を図った。

#### ⑬「国立国会図書館サーチ(NDLサーチ)」との連携

当法人では国立国会図書館と「国立国会図書館サーチから「三康図書館蔵書検索」への連携について」(許諾書)を2022年12月16日に取交している。データを作成した所蔵資料については、NDLサーチで検索できるようになっている。

※2025年度は「事業計画書」通り「他機関との連携」を図った。

#### ⑭他機関の展示会等への三康図書館資料貸出の実施

より多くの方々へ当法人所蔵資料の周知を図るため、他機関の展示会等へ資料を貸出した。2025年度は、『甲子吟行絵巻』『こほろぎと象』等、計539点の資料貸出依頼があった。

展示名	貸出先機関名	資料種類 冊数	展示期間
戦前の女性誌	港区立男女平等参画センター リーブラ	雑誌31冊	2025年5月11日～7月31日
特別展 旅する芭蕉 —野ざらしを心に風の しむ身かな—	市立伊丹ミュージアム	卷子本1巻	2025年6月13日～7月21日
昭和の児童文学 ～昭和100年を迎えて	港区立みなと図書館	図書5冊 雑誌22冊	2025年7月18日～9月17日

昭和100年展特集棚 第1期 少年少女の戦前・ 戦中・戦後	公益財団法人角川文化 振興財団角川武蔵野ミ ュージアム	図書136冊 雑誌37冊	2025年8月15日～10月13日
蔦屋重三郎と版元列伝	公益財団法人太田記念 美術館	図書2冊	2025年10月3日～11月3日
昭和100年展特集棚 第2期 戦前と戦後、2つ の発禁本	公益財団法人角川文化 振興財団角川武蔵野ミ ュージアム	図書192冊	2025年10月15日～12月30日
小林徳三郎	東京ステーションギャ ラリー	図書1冊 雑誌3冊	2025年11月22日～2026年 1月18日
昭和100年 ～時を超えて微笑む昭 和映画のスタアたち～	港区立麻布図書館	雑誌24冊	2025年11月21日～12月28日
港区の専門図書館 三康図書館	港区立三田図書館	図書15冊	2025年11月21日～2026年 3月18日
野球に相撲にウィンタ ースポーツ…まだまだ アツいスポーツ熱！	港区立麻布図書館	雑誌70冊	2026年3月2日～4月15日 (予定)

※2025年度は「事業計画書」通り「他機関との連携」を図った。

#### ⑮自動翻訳機使用による、外国語話者への対応

自動翻訳機を使用し外国語話者とのコミュニケーションを図った。

※2025年度は「事業計画書」通り実施した。

#### ⑯研究者への所蔵資料調査依頼

旧大橋図書館業務資料の価値について調査と報告書作成を依頼した。

※2025年度は「事業計画書」通り実施した。

#### ⑰研修等への参加

当館職員は、今後の図書館運営に活かすため、専門図書館協議会や日本図書館協会が主催する研修への参加、他機関見学を実施した。

※2025年度は「事業計画書」通り実施した。

### チェックポイント対照表

公益認定申請書	事業報告書	チェックポイントと回答	
公2(2) 4. 利用者へのサービス 小規模展示「ミニ展示」 年2回実施による所蔵 資料の紹介	IV 6. 附属図書館 (6) 利用者へのサー ビス ②資料の展示 ○ミニ展示 ○蔵書紹介	(10) 博物館等の展示1  当該博物館等の展示 が不特定多数の者の 利益の増進に寄与す ることを主たる目的	【回答】 研究者、観光旅行者、近隣 の方が興味関心を持てる ようなテーマを設定して いる。テーマに関連する 機関への周知を行い、誰

	○特集展示コーナー ○研究員による所蔵資料の紹介コーナー	として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。	でも無料で鑑賞できるよう開催している。
		(10) 博物館等の展示2  公益目的として設定されたテーマを実現するプログラムになっているか。	【回答】 浮世絵や江戸期の写本、明治大正期の書籍や雑誌について幅広いテーマで紹介することで、文化及び芸術の振興に寄与している。
		(10) 博物館等の展示3  資料の収集・展示について専門家が関与しているか。	【回答】 公開講座の内容に関連した資料を、研究員が選書し展示している。講演会に関連するミニ展示や蔵書紹介では、講師のアドバイスをもとに選書している。
		(10) 博物館等の展示4  展示の公開がほとんど行われず、休眠化していないか。	【回答】 図書館開館中に公開し、誰でも無料で閲覧できる機会を提供している。ミニ展示・蔵書紹介は約1ヶ月毎に展示替えを行い、特集展示コーナーは3ヶ月毎に展示替えを行っている。

#### IV. 収益事業(建物賃貸業)の実施状況

不動産賃貸事業は計画通り推移した。

#### V. 運営体制の充実をはかるための取組

当法人は自主的かつ自律的なガバナンスの充実を図るため、さまざまな方策を実施している。

- ・不祥事の予防・発見の仕組みとして、現金及び現金同等物、金券類等について毎月月初に事務局長が実査している。
- ・不祥事の予防・発見の仕組みとして、常務理事が事務局長から毎月次決算報告を受け、内容の確認を行うとともに、会計処理が適切に行われているか精査している。
- ・金庫は原則として常に施錠し開錠の必要があるときは事務局長の許可を得る。

- ・現金を扱うときは原則として事務局担当者が事務局長立会いの下行う。
- ・法人運営、人事、会計、税務等について、事務局長及び事務局担当者が講習会に参加して業務上必要な知識の習得に努めている。
- ・人事、会計、税務等について疑義等があるときは、事務局長が業界団体の制度や講習会での個別相談を利用して、司法書士、税理士、公認会計士などの専門家に随時相談している。
- ・法人運営についての助言を得るため、弁護士と顧問契約を締結している。
- ・公印の押印について全て事務局長が確認している。

以上の通り2025年度事業の概要を報告いたします。

2026年 5月 21日  
公益財団法人 三康文化研究所  
理事長 小澤 憲 珠